

# 自治体支援・人材育成の取組み

東北大学大学院工学研究科インフラ・マネジメント研究センター  
東日本高速道路株式会社 東北支社  
株式会社ネクスコ・エンジニアリング東北

## 老朽化するインフラの 管理・整備に直面する 自治体管理者

**勉強会の目的・意義** 人口や予算、管理施設数にその供用年数など自治体によって置かれている条件は実に様々である。その中で、インフラの維持管理に直面する管理者の苦悩は計り知れない。現場レベルの本当の課題・ニーズを知ることは、限られた予算内で施行しなければならない自治体のインフラ修繕計画や予防保全、長寿命化を技術的に支援するためには不可欠である。



ながれ

現状改善に意欲的な自治体

第1回  
インフラ  
維持管理  
勉強会

第2回  
インフラ  
維持管理  
勉強会

モデル自治体  
の選定・試行

第3回  
インフラ  
維持管理  
勉強会

モデル  
ケース  
横展開

## 第1回

参加者数:12名  
(8自治体)

課題・ニーズ  
を聞き出す

第1部 情報提供 先進自治体の取組み紹介など

第2部 「点検・診断」「補修」「長寿命化」「IT・DB」の4つのテーマに沿ってディスカッション



各ブースにそれぞれの専門家を配し行なったディスカッションは、自治体管理者から課題やニーズをできるだけ多く聞き出すことが目的。少人数グループにしたことで、率直、且つ、詳細な意見を多数聞くことができた。

## 第2回

参加者数:18名  
(9自治体)

ニーズとシーズ  
のマッチングを図る

- 1日目 施設見学: 東日本高速道路株式会社 東北支社 道路管制センター、ハイウェイミュージアム東北  
シーズ紹介: 東北大学インフラ・マネジメント研究センター  
(株)ネクスコ・エンジニアリング東北、(株)ネクスコ・メンテナンス東北
- 2日目 お困りごと相談会  
有識者: 東日本高速道路株式会社 東北支社、(株)ネクスコ・エンジニアリング東北、  
東北大学インフラ・マネジメント研究センター



2日目は、自治体管理者に業務上困っている案件を持ち寄ってもらい、有識者に実際に相談するという試みを行なった。解決を目的とせず、あくまでアドバイスの領域を越えないものとしたが、話を聞いてもらえること、悩みを共有することだけでも管理者たちにとっては貴重な場であり、そこでヒントを得たり、他自治体の参考事例を知ることができたり、有意義な時間であったことが、事後のアンケートからもうかがえた。



H30.7.10 宮城県登米市にて実証

## モデル自治体の選定・試行

### 宮城県登米市における参加機関の役割

東北大学 IMC	進行・タブレット	・全体進行 ・タブレットでの橋梁点検指導
登米市	被験者	・モデル自治体としてシーズの試行
宮城県建設センター	点検指導	・通常の橋梁点検指導
NEXCO 東日本	アドバイザー	・道路管理者としてのアドバイス
ネクスコ エンジ東北	技術指導	・製品の使用を含めた技術指導 (ふりもみべったん、コロコロeye)

## インフラ維持・管理業務の効率化を 実証する

**実証の目的・内容** 勉強会を通じて、市町村における橋梁維持管理業務の課題が浮き彫りになった。今後は、産学官が連携して、その業務の効率化を図るフェーズに入るべきと考え、モデル自治体のフィールドにて、時間短縮・コスト削減を望めるシーズの試行や、専門家による点検・補修のアドバイスをを行った。

H30.7.24 山形県南陽市にて実証



# 第3回

- 1日目 現場実証：仙台市管理橋梁（泉区八乙女中央2丁目 かむり大橋）  
参加機関：自治体管理者、東日本高速道路株式会社 東北支社、株式会社ネクスコ・エンジニアリング東北 東北大学インフラ・マネジメント研究センター
- 2日目 第1部：自治体などの取組み紹介  
第2部：意見交換会

参加者数：16名  
(10自治体)



## シーズの試行 勉強会の成果

1日目には、実際の現場にて時間短縮・コスト削減を望めるシーズの試行を体験。今までは机上のみの話だったものを、実際に自分の手で試し、その便利さ、手軽さなどを実感した様子が見受けられた。

2日目は、先進自治体などの取組みをはじめ、この勉強会に参加したことによる意識の変化や新たな取組について各参加自治体に発表してもらった。後半の意見交換会では、参加機関ごとにブースを設け、各テーマに沿ったディスカッションが行われた。

今後、自治体の限られた人材・予算を効率的かつ有効的に活用するためのモデル構築を目指し、サポートや実証などを次の段階へ進めていく予定である。

お問合せ先

東北大学大学院工学研究科インフラ・マネジメント研究センター

TEL : 022-721-5503 E-mail : inquiry-imc@grp.tohoku.ac.jp HP : <http://imc-tohoku.org/>